

小学校第6学年 社会科学習指導案

日時 平成24年10月11日(木)2校時

指導者 教育センター所員 田本 正一

1 単元名 世界に歩み出した日本ー日本における近代化の光と影ー

2 単元設定とその理由

○本単元は、学習指導要領第6学年の「内容(1)のク」「大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること」を受けたものである。この時代、日本は国内的には明治維新の急激な社会の変化の中で、西洋を手本として近代化を進め、西洋と対等の地位を目指そうとしていた。また国際的には、各国が領土の拡大を目指し、植民地を獲得しようと動き、日本も朝鮮に対して武力での進出を目指していた。朝鮮の支配権を争う日本と清国、満州への進出を目指していたロシア、それが日清・日露戦争を経て、朝鮮(韓国)併合へとつながっていった。

このような時代を近代化の視点から捉えさせることを目的としたい。日本は西洋と対等な国づくりを目指すために近代化を推し進めた。その結果、産業が発展した。さらに、不平等条約の改正に成功したり、日清戦争や日露戦争にも勝利したりすることができた。しかし、産業の発展は足尾銅山鉱毒事件や工場で働く人たちの労働条件の悪化など、様々な社会問題を引き起こすこととなった。このように、本単元は近代化を豊かな生活を送ることができるようになったというよいことについてだけでなく、社会問題を引き起こす契機となったよくないことについても学習することができる。近代化の影響は現在にもつながっており、過去と現在をつなぐという意味からも、歴史を学ぶ意義を感じ取らせやすいと考え本単元を設定した。

○本クラスは歴史に興味をもっている児童が多い。その理由として「昔のことを知ることができるから」、「歴史上の人物が好きだから」などを挙げている。一方で歴史に興味をもてない児童の理由としては、「覚えることが多いから」、「現在の生活との結び付きが分からないから」などを挙げている。また、児童は国語科の学習で討論をする経験はしている。しかし、歴史学習においては初めてである。加えて、主張に対して反論を適切に行う段階には至っていない。

さらに、現在のように豊かな生活を送るようになった理由、あるいは環境問題などの社会問題がどのようにして引き起こされたかについては知らない。そのため、歴史を単に知るだけではなく、現在との関係において日本の近代化を考えさせていく必要があると考える。

○指導に当たっては、導入の過程で現在の豊かな生活の様子や環境問題の写真を提示し、現在の社会状況を捉えさせる。さらに、この社会状況をつくり上げる契機となったのが明治時代の近代化政策であったことを知ることで「日本の近代化政策で評価できるもの、できないものは何かを考え、意見文を書く」という単元を貫く課題を提示する。そのことで現在と過去の歴史をつなぐことができ、児童は歴史を学ぶ意義を感じ取ることができると思う。

展開1の過程では、産業の発展、不平等条約の改正、日清・日露戦争での勝利、科学の発展など近代化へ向けた歩みについて学習させていく。そのことで、近代化は当時の社会状況に必要な不可欠のものであったことを意識させたい。一方、社会問題としては公害や労働問題を取り上げる。公害や労働問題は現在の社会にも大いに関係がある。それらのことを指導することを通して、現在にもつながる社会問題の契機が明治・大正時代にあることを意識させたい。展開2の過程では、近代化政策において評価できるもの、評価できないものを取り上げて討論する場面を取り入れる。その場面ではなぜ評価できるのか、あるいはできないのかについて明確な理由を考えさせていく。さらに、その理由について納得できない

点には、納得できない理由についても考えさせていく。このような学習過程を経ることによって近代化をプラス面として捉えるだけでなく、マイナス面としても捉える契機としたい。終結の過程では、単元を貫く課題に対しての自分の考えを書かせていく。その意見文は自己評価させたり、相互評価させたりして自分の考えの深まりを実感させたい。

3 単元の目標と学習評価

(1) 単元の目標

明治中期以降の近代化について関心をもち、我が国の近代化に貢献した人々の働き、立憲政治の確立、日清・日露戦争、外交の努力、科学技術の発展などについて調べ、近代化のプラス面やマイナス面が分かることで日本の近代化について考えることができる。

(2) 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
①日本の近代化に関わる人物の働きや代表的な文化遺産に関心をもち、意欲的に調べている。 ②日本の近代化のプラス面、マイナス面について考えようとしている。	①日本の近代化について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 ②日本の近代化について調べたことを比較したり関連付けたり総合したりすることで近代化について考え、適切に表現している。	①地図や年表、その他の資料を活用して日本の近代化に関わる事象や人物について必要な情報を集め、読み取っている。 ②調べたことを整理して地図や年表やその他の資料にまとめている。	①日本の国力が充実した一方で社会問題を引き起こしたことや国際的地位が向上したことが分かっている。 ②現在の生活が歴史的背景と関わりがあることを理解している。

4 指導と評価の計画 (全 10 時間)

過程	時配	主な学習活動	指導上の留意点	評価
導入	1	○現在の豊かな生活や環境問題による汚染された川などの写真を提示し、気づきを出し合う。 ○工場の数や主要な生産品目の推移のグラフを基に、分かったことを話し合う。 ○単元を貫く課題を設定する。	○豊かな生活を送る一方で、様々な社会問題が生じ、解決が困難なことを認識させるために気づきを交流する場を設定する。 ○明治時期となった頃から急激に工場数が増加したり、工業が盛んになったりしたことについて気付かせる。	○工場数の変化のきっかけを考えることで日本の産業の発展に関心をもち、意欲的に調べようとしている。 【関心・意欲・態度①】 ○産業が発展した理由を予想し、学習問題を考え表現している。 【思考・判断・表現①】
展開1	2	○ノルマントン号事件の風刺画を見て、当時の社会状況についての気づきを出し合う。 ○条約を改正するために努力した人々の工夫や努力についてまとめる。	○優先的にイギリス人を救助したり、刑罰が軽かったりしたことについて当時の日本人がどのような感情を抱いていたのかを考えさせる。	○不平等条約が日本にもたらしていた不利益や条約改正に関わる人々の願いや働きを分かっている。 【知識・理解①】

	3	○日清戦争や日露戦争について調べ、日本と世界の国々との関係についてまとめる。	○日清戦争、日露戦争の内容や勝利によって欧米列強国から国際的地位の向上を認められたことについて気付かせる。	○2つの戦争で調べたことを地図や年表やその他の資料にまとめている。 【技能②】
	4	○日本が朝鮮を植民地にして朝鮮の人をどのように支配したのか、更に植民地にすることで国際的地位がどのように変化したのかについて調べる。	○日本が朝鮮を植民地にしたことで朝鮮の人々の誇りを傷つけた一方で、勢力を伸ばしたことで条約改正を成し遂げたことについて理解させる。	○日本が朝鮮を植民地にしたこと、条約改正を果たし、欧米諸国と対等な地位を築いたことを分かっている。 【知識・理解①】
	5	○明治期における医学などの分野で国際的に活躍した日本人について調べる。	○近代化によって医学の分野においても発展が見られたことに気付かせる。	○近代化に関わる日本人の業績を、資料や本文から読み取ってまとめている。 【技能①】
	6 本時	○産業の発展が、人々の暮らしにどのような影響をもたらしたかについてまとめる。	○産業が発展する一方で、環境問題や労働問題などの現在にも関わる社会問題が生じていることについて考えさせる。	○明治時代の産業の発展が生活を豊かにした一方で社会問題を引き起こす原因となったことを表現している。 【思考・判断・表現②】
展開 2	7	○討論の論題設定と意見の作成をする。	○近代化はプラス面だけでなく、マイナス面もあることに気付かせる。	○日本の近代化のプラス面、マイナス面について考えようとしている。 【関心・意欲・態度②】
	8	○討論をする。 「日本の近代化政策は評価できるか、できないか」	○現在の状況と過去の状況を関連付けて発言している児童を称賛する。	○現在の生活が歴史的背景と関わっていることを理解している。 【知識・理解②】
終結	9	○討論の内容やこれまでの学習を想起して、意見文を書く。	○現在の状況から評価できるもの、評価できないものについて理由を考えさせる。	○調べたことと日本の近代化を相互に関連付けることで近代化のプラス面、マイナス面を表現している。
	10	○意見文を自己評価したり、相互評価したりする。	○調べた内容や討論で出た考えを活用しながら意見文を書けるように、友達の文章と比較させたり、書き方の例を事前に配布したりする。	【思考・判断・表現②】

5 本時の指導

(1) 本時の目標 (6/10)

- 明治時代の産業の発展は現在にもつながっており、生活を豊かにすることができた一方で、労働問題や環境問題などの社会問題を引き起こす原因となったことについて記述することができる。

(社会的な思考・判断・表現)

(2) 本時の展開

学 習 活 動	学習形態	教師の働き掛け (・) と それに基づく支援 (◆)
<p>1 明治政府が様々な西洋文明を取り入れ、富国強兵を国策として進めたことを確認する。</p> <p>〈確認する内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの工場ができた。 鉄道が走るようになった。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 文明開化のころの日本の様子を教科書や資料集で確認させる。 明治政府が富国強兵政策を進めることによって国力を高めたことを想起させる。
<p>産業の発展は、当時の人々や社会にとってどのようなものだったかについて考えよう。</p>		
<p>2 明治時代に入り、生活の中で変化したものを確認する。</p> <p>〈予想される発言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ラジオができた。 自動車 that できた。 製鉄所ができた。 	個人 ↓ ペア	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の産業の発展に関する写真を確認させ時代の変化を確認させる。 黒板に写真を掲示することで変化したものを確実に押さえる。
<p>3 生活がどのように変化したかを考え、ワークシートに記入する。</p> <p>〈記入させたい内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ラジオで多くの情報を得ることができるようになった。 	個人 ↓ ペア	<ul style="list-style-type: none"> 産業の発展によって作られたものから生活がどのように変化したのかを押さえる。 <p>◆生活がどのように変化したのかを捉えられない児童には、ラジオや自動車のよいところなどを具体的に考えさせる。</p>
<p>4 産業の発展のマイナス面について調べ、ワークシートに記入する。</p> <p>〈記入させたい内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 公害問題が起き、自然がはかいされた。 労働問題が起き、安い賃金で長い時間働かされた。 	個人 ↓ ペア	<ul style="list-style-type: none"> 産業の発展はプラス面ばかりであるかという発問を行い、マイナス面について考えることができるように視点を変化させる。 足尾銅山事件についての写真や労働条件の資料を提示することで様々な社会問題が起きたことについて気付かせる。 <p>◆産業の発展のマイナス面が捉えられない児童には、再度配布した資料や写真を確認させ、自然が破壊されていることなどについて具体的に考えさせる。</p>
<p>5 明治時代の産業の発展によって現在にもつながるものはないかについて確認する。</p> <p>〈予想される発言〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動車は今も走っている。 ラジオ放送は今もあって情報をたくさん収集することができる。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 産業の発展によるプラス面とマイナス面が現在の社会でも引き継がれていることを理解させ、歴史が現在と結び付いていることを実感させる。

<p>6 産業の発展が人々や社会に与えた影響についてノートにまとめ、発表する。</p>	<p>個人 ↓ 一斉 ペア ↓ 個人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業の発展は、よいことと、課題の両面があることを理解させる。 ・記述する内容をまとめさせる。 ・友達の意見を聞くことで書いた文章の不十分な点に気付かせる。
<p>7 本時の学習を振り返り、自己評価したり、相互評価したりして書いた文章の修正を行う。</p>		<p>「おおむね満足」(B)の判定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業の発展が与えた影響はプラス面、マイナス面があることについて記述している。
		<p>「努力を要する」状況(C)の児童に対する手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事後指導において産業の発展のよいこと、課題を具体的に想起させて2つの面があったことを理解させる。